

湯来ふるさと新聞

第14号(9月24日発行)

738-0513
広島市佐伯区
湯来町伏谷 535
湯来ふるさと
プロジェクト
☎0829-86-1439

こんにゃくが育っています

水内・麦谷に作った湯来フロのこんにゃく畑。こんにゃく芋は順調に育っているようです。皆さんの畑や植木鉢で育てているこんにゃく芋はどのくらい育っていますか？と、大丈夫だろうと思っています。



▲最初は順調こんにゃく芋

さて、こんにゃく畑に看板を立てました。農村環境改善センターにあった使い古しのベニヤ板と角材をいただいて作った手作りの看板です。結構大きい看板ですが、最初は感じていませんでしたが、実際に畑に立ててみると、色が周りの草に同化して目立たない上、現在工事中の国道433からチラッと見える程度。残念。



畑に行くと、見てみてください。その後は下に

狐原山の草刈りとさわゆる

6月24日に、狐原山夏の作業を行いました。しかし、当日は小雨が降った日。集まったメンバーは少なく(誰もが、雨が降る日は作業をしないと、思うのが普通です)、作業もはかどりませんでした。作業はとりのあえず、入り口付近の草刈りと、側溝の清掃のみ。

雨に濡れながらのむなし作業でしたが、ホッとさせてくれるものがありました。ササユリです。苗木を植樹して以降、年に3、4回草刈りをしてきた成果なのでしょう。か？緑の中で凛として咲いているササユリが、下の駐車場から確認できました。



地域の人の話によると、昔はササユリがたくさん咲いていたそうです。このまま手入れを続けていけば、狐原山は桜の森になって、ササユリの咲く山になるのではないかと思います。

春にも草刈り作業をしましたが、夏草の勢いはものすごいパワーです。草が伸びて散策道も歩きにくく、苗木にたどりつけない場所もあるほどです。

そこで「狐原山・夏の作業(再び)」と銘打って、夏の草刈り作業をすることに。更に「こんにゃく畑が草ぼうぼうになっとなるでー」との情報から、こんにゃく畑の草刈りも行つことになりました。

狐原山とこんにゃく畑の草刈り

作業は9月2日(日)朝8時から。当日、狐原山に仕事師の皆さん6人と湯来南高校男子生徒2人が助っ人として参加！すごい！仕事が速い！！流石です。狐原山はこれで大丈夫です。



▲狐原山の草刈作業

さて、こんにゃく畑。こちらはかなりひどい状態でした。草がぼうぼうどころか、こんにゃくが草の中で枯れてしまつて、どこに植えてあるのかわからない状況でした。「なぜこれほごまごま」と

草の勢いに関心するほど。

こんにゃくを探しながらの草刈りが始まりました。発見したこんにゃくは茎がクタツと腐れているものがほとんど。また、茎がピンとしていたものがあっても誤って草と一緒に刈ってしまったものもありました。「こりゃあ、こんにゃく芋は採れんで」という心配が浮上しました。

とりのあえず、借りている畑の全体の草は刈り、できる限りこんにゃくは救済したつもりですが、こんにゃく芋がどうなっているのか、知るのが怖くて、試しに掘ってみる勇氣はありませんでした。



▲コンニャク畑の草刈作業

今年は猛暑。メンバーの中にも畑に植えていたこんにゃくはダメになったという話を聞きました。しかし、植木鉢で育てているものの生育はまあまあ感じます。

今年「大釜こんにゃくイベント」を2年ぶりに開催される「水内ふるさとまつり」でやりたいと想定しています。11月11日(日)です。それまでにはメンバーの皆さん

が自宅の畑などに植えられたものと、湯来フロの畑のこんにゃくが少しでも大きくなることを祈っています。目指すは「湯来産のこんにゃく芋で大釜こんにゃくイベント」です。

「川遊び体験」満足！盛況！

8月7日(火)朝8時半。湯来出張所駐車場に集合して、鶴杉沖の河原で、参加生徒性・保護者44名、ボランティア参加者17名の総勢61名が午前中、枝のついて細い竹の仕掛けを取り付けてからミズなどの餌をつけ、清流でハヤを釣り、釣った魚を炭火を使って焼きました。飯盒を使ってお米をといで、河原に仕掛け、木を山から運んで燃やし、ご飯を炊き、うまくできました。

ヤマメも一人に1匹ずつ山根さんに焼いて貰い、チキンカレーもハッピーキッズの方々に作ってもらい、風食をおいしく食べ、満足できました。

午後はすみれの谷さんからの指導でカヌーを体験しました。初めての人があんなに楽しかったので、良い体験でした。保護者の方もカヌー体験ができ、満足の様子で、次の機会にも参加したいとの声も出るくらいでした。